

共育の丘だより

第12号 2020冬

山口大学 大学教育機構 大学教育センター ニュースレター



「山口大学は、教えるだけの教育ではなく、

教員と学生、あるいは地域と一体となって

発見し・はぐくみ・かたちにすることで共に高め合い、

未来を拓く『共育』を目指しています」

『2014 山口大学案内』より

共育の丘（山口大学 吉田キャンパス）

巻頭言

「新しい共通教育」がスタートして6年がたちます。「新しい共通教育」では本学の学生として共通して持つべき素養・能力を明確化し、山口大学ブランドの確立を目指し、全学共通の30単位を必修としました。（共同獣医学部と国際総合科学部を除く。）また、運営体制も全教員出動体制から全部局出動体制に移行し、一般教養科目は各学部が開講部局となりました。その後、この間に、英語教育の見直しやデータサイエンスの導入などのカリキュラム改訂が行われました。また、アクティブ・ラーニングの推進も図られ、アクティブ・ラーニング・ベストティーチャー賞が創設され、優れた取り組みをされた先生方の表彰が行われています。更に現在、この「新しい共通教育」を振り返って検証し、改善するべき点があれば改善策を検討し、併せて、高年次の共通教育の導入についても検討するため会議を設置し、議論を進めているところです。

一方、各学部・学科においては3つのポリシーを軸にPDCAサイクルを回すとともに、大学全体としても、それを組織だて進めていくことが求められています。そのため、来年度より、大学教育センターの中にあった教育開発部と教学IR部を教学マネジメント室として独立させ機能強化を図り、機構長（教育学生担当副学長）直下において、全学の教学マネジメントの中核組織とする改組を行う予定です。それに伴って大学教育センターも教育支援センターとなる予定ですので、これが大学教育センターとして最後の『共育の丘だより』になりそうです。

（菊政 勲 山口大学 大学教育機構 大学教育センター長）

INDEX

- P1 巻頭言
- P2 大学教育センターの動き
- P3 新メンバー紹介
- P4-5 学生FDサミット2019夏 参加記
- P6-7 「eポートフォリオによる学修成果の可視化コンソーシアム」加盟
地域活動 & やまぐち探訪記
- P8 編集後記

【※ 本ニュースレターは、山口大学基金「学生の就職支援・教育環境の改善等助成事業」の支援を受け、編集・刊行しています。】

大学教育センターの動き

FD・SDとは？

はじめに

FDはFaculty Developmentの略称で、「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組」を指します。SDはStaff Developmentの略称で、「事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組」を指します(中央教育審議会答申・用語集より)。

学修ポートフォリオをテーマに教育改善FD研修会開催！

2019年度「教育改善FD研修会」のテーマは『学修ポートフォリオ』です。

山口大学では、これまで、各学部・学科等の裁量のもと、「学生ポートフォリオ」という名称で、その運用を図ってきました。昨今、教育の内部質保証の重要性が叫ばれ、各学部・学科等が定めたディプロマ・ポリシー（DP）に基づく教育・学修の徹底が求められています。学生自身が学年進行に従い、自らの学びを振り返り、担当教員の指導助言を受けながら学修を進めることが大事であり、学びのプロセスを明確化するツールとして「学修ポートフォリオ」が欠かせないものとなってきています。

そこで、今年度の教育改善FD研修会では、林 透 大学教育機構 大学教育センター准教授が講師となり、修学支援システムにおいて運用可能な「学修ポートフォリオ」の機能や意義を説明し、各学部・研究科の教員と意見交換を行いながら、「学修ポートフォリオ」への理解を深める機会を設けています。

本学では、YU CoB CuS (Yamaguchi University Competency-Based Curricular System) や教職課程履修カルテにより、学修ポートフォリオ機能の運用が進んでいますが、改めて、「ポートフォリオを通じた学修者の振り返りの意義や価値」「eポートフォリオのメリット・デメリット」「ポートフォリオを活用したDPの達成状況の自己評価」などについて、各部局では積極的な質疑応答がなされています。今後、意見交換結果を本学における学修ポートフォリオの改善充実に活かしていきます。



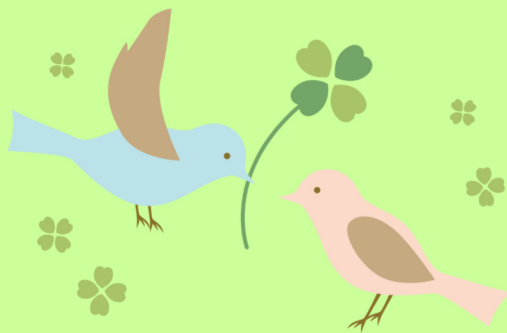
全国大学教育研究センター等協議会に参加！

2019年9月17日（火）～18日（水）、千葉大学にて開催されました令和元年度全国大学教育センター等協議会に、林 透 大学教育機構 大学教育センター准教授が参加し、2日目の分科会「自律的学習者育成のための学習支援の取組と課題」を企画運営し、本学のラーニング・アドバイザー養成講座などを紹介しながら、学習支援のあり方について意見交換を行いました。

第1日目には、永田 恭介 筑波大学長（国立大学協会・会長）による基調講演「『グランドデザイン答申』から次の一步へ」に始まり、東京大学、香川大学、島根大学、千葉大学から特色ある事例報告があり、参加者との活発な質疑応答が繰り広げられました。



新メンバー紹介



人文学部1年 河野真優

この度学生スタッフになりました、人文学部1年の河野真優です。私は、この春初めて山口市にやってきて、一人暮らしをスタートさせました。出身の広島県とさほど離れていないのに、山口市での生活は新しいことばかりで、毎日がとても楽しいです。知らないところで暮らすにあたって、正直心配な気持ちもありましたが、今は知らない場所で一人暮らしをしてみてもよかったと思います。この新鮮な気持ちを忘れず、大学4年間を過ごしていきたいと思っています。そして、学生スタッフとしても、大学をよりよくなる活動に積極的に参加していきたいと思っています。特に、最初に任せていただく『共育の丘だより』の「やまぐち探訪記」のお仕事を頑張ろうと思っています。そこでは、県外出身者から見た山口県の素晴らしさをお伝えできればいいなと思っています。このほかにも、楽しくやりがいのあるお仕事がたくさんあると思うので、これから始まる活動がとても楽しみです。任されたお仕事には、全力を尽くします！これから4年間よろしくお願いします。



医学部1年 高橋真一

はじめまして、ディズニーが好きな医学部1年の高橋です。学生スタッフのことについては、一年生のキャリア教育の授業中に学生スタッフについての説明があり、その時に知りました。この活動に参加することにした理由は高校までにやらなかったことを大学ではやってみたいと思い、そのためには自分がやりたいと思うことをどんどんやっっていこうとする気持ちが一番だと思い、山口で地域貢献をしてみたいという思いから学校の中に地域と関わる様なサークルがあれば参加したいなと思っていた時に大学内で山口大学をよりよくなる活動をしている学生スタッフが集まるYU-APに出会い、この活動の中には地域との交流を行う企画もあると担当している先生方に教えてもらい、自分が大学でやりたいと思っていたことが出来るのではないかという気がしたので、参加することにしました。また、他学部の人達との交流も本学にいる間しか機会がないと思うので、



YU-APでの活動を通して色々な学部の人と友好関係を築けていければいいなと思います。この活動は本学でのみ行われているということで、短い間ですが自分に出来ることはやっていきたいのでよろしくお願いします。

学生FDサミット2019夏

～in 北翔大学～



2019年8月27日、28日の二日間、北海道の北翔大学で学生FDサミットが行われました。学生FDとは学生が大学生活をよりよいものにするために取り組む活動のことです。そして学生FDサミットでは各大学が行っている活動の紹介をしたり、意見交換を行ったりしてさらにFD活動を進化させていくという目的があります。

1日目にはポスターセッションと情報交換会が行われました。ポスターセッションでは33の大学がこれまでに取り組んだ活動の紹介をしました。各ポスターの前に学生が集まり、たくさんの質問が飛び交っていました。この場では他大学の活動を知ることができただけでなく、山口大学で行った活動の改善点や良さを指摘していただきました。私たちでは気づけなかった意見ばかりで今後の活動に反映していきたいと思いました。その後情報交換会が行われました。真面目な雰囲気とは大きく変わってご当地の食べ物や飲み物を片手に、他大学の学生と楽しく話すことができました。

2日目には「しゃべり場」がありました。しゃべり場とはテーマについて各グループで話し合う場のことです。今回のテーマは「大学ってつまらない?」。各グループで大学がつまらない、つまらなくないと思う理由をあげ、話し合いで出た結論を発表しました。驚いたのはつまらない、つまらなくないという2択の結論ではない発表が多かったことです。オリジナルの言葉でまとめられた発表はどれも魅力的でした。

次回の学生FDサミットは20回目を迎え、広島経済大学で行われます。これまで参加したFDサミットについての資料もYU-AP推進室で閲覧することができますので、興味がある方はぜひお越しください。

大学はつまらない?

学生FDサミット2019夏 with 学生FD会議

1日目
 12:00～受付開始
 13:00～オープニング
 14:00～集合写真
 15:00～ポスターセッション
 17:00～移動
 18:00～終了

2日目
 9:00～受付開始
 10:00～しゃべり場
 12:00～昼休憩/発表準備
 13:30～発表
 14:30～移動
 15:00～クロージング
 16:00～解散

今、私たち学生にできることは

8月27日(火) 28日(水)

会場
北翔大学 700-0011 北海道江別市文京台2-3番地
 TEL. 011-358-6011
 aomori@hokusho-u.ac.jp

事務局
 〒040-0201 青森県青森市中央1-1-1
 青森大学 学生FD推進室
 TEL. 017-734-2111
 fd-hokusho-summit.info

プログラム

〈1日目：8月27日（火）〉

- 12：00～ 受付開始
- 13：00～ オープニング
- 14：40～ 集合写真
- 15：00～ ポスターセッション
- 17：00～ 移動
- 17：30～ 情報交換会
- 19：00～ 終了

〈2日目：8月28日（水）〉

- 9：00～ 受付開始
- 10：00～ しゃべり場
- 12：00～ 昼休憩/発表準備
- 13：30～ 発表
- 14：30～ 移動
- 15：00～ クロージング
- 16：00～ 解散

(理学部2年 山口 由貴)



参加者からの便り

理学部2年 山口由貴

「大学ってつまらない？」このタイトルに惹かれ参加を決めた、初めての学生FDサミット。サミットに参加する前は「大学はつまらない」そう断言していました。しかし2日間を通してその考えは見事覆されました。まずポスターセッションでは、各大学のアイデアにあふれた活動紹介に胸が躍りっぱなしでした。大学ってもしかして楽しい場所？とふと思った瞬間でした。この考えが確信に変わったのは二日目のしゃべり場です。大学はつまらない？つまらない？という2択に対して出した班の答えは「自分次第で楽しいものになる！」でした。意欲的でポジティブ思考を持ったたくさんの仲間と意見を交わしていくうちに、大学はつまらないと思込み何も動いていない自分に気づくことができました。このようなサミットに参加することができ光栄に思います。サミットスタッフをはじめ、この機会を与えてくださったYU-APスタッフ、先生方に感謝申し上げます。



山口大学教員 高林友美

今回の北海道サミットでは教員として沢山の事を学ばせていただきました。

1日目の山口大学の活動を報告するポスター発表では、それぞれの大学での自分たちの活動に私たちの活動を取り入れるためにと、具体的な質問を沢山顶戴しました。積極的な姿勢で私たちの活動について聞いてくれる学生たちにとっても心を動かされ、これからも活動をより良い方向に進めなければならないと思わせられました。

2日目のしゃべり場では自由な発想がたくさん出てきて、職員さんも学生たちも普段から様々なことを考えながら学生の生活を支えていることがわかりました。今年のテーマは2択の質問に見えて、実は大学を築くひとりひとりの態度で可能性の広がるものだと感じたとき、教職学の協働を体現した活動のすばらしさを実感しました。このFDサミットで学んだことが、参加した学生を含むYU-AP学生スタッフの今後の助けになることを祈ります。



「eポートフォリオによる学修成果の可視化 コンソーシアム」に加盟しました！

2019年8月21日（水）午後、九州工業大学戸畑キャンパスにて開催された「eポートフォリオによる学修成果の可視化コンソーシアム」キックオフフォーラムに、林 透 大学教育機構 大学教育センター准教授と高林 友美 同センター助教（特命）が参加しました。

山口大学 大学教育機構 大学教育センターでは、2019年度から「eポートフォリオによる学修成果の可視化コンソーシアム」に新たに加盟しました。本コンソーシアムは、九州工業大学が発起人となり、2019年3月に設立されたもので、教育の可視化や質保証、学生の成長に関する情報交換や議論、意見交換、相互連携を推進・支援

することを目的に、高等教育機関および産業界からなるコンソーシアムを構成しています。2019年12月現在で、17機関が加盟しています。



本コンソーシアムでは、（１）eポートフォリオによる学修成果を可視化する手法や技術の発展を図る活動、（２）学びの質保証に基づく学修の質の向上を図る活動、（３）教育の質保証の取組等、教育改革の情報を社会に公開する活動、（４）シンポジウム・フォーラム等の開催、（５）その他目的を達成するために必要な事業といった5つの取組を進めていくこととしています。

今回のキックオフフォーラムでは、「可視化した学修成果情報を活用した教育改善のPDCAサイクルについて」「可視化した学修成果情報の活用における個人情報の扱いについて」をテーマに、長崎大学、大

阪府立大学、公立千歳科学技術大学、九州工業大学から話題提供がありました。eポートフォリオによる学修成果の可視化を組織的に取り組む大学の話題提供を通して、本学にとって有益な情報が沢山得られました。特に、九州工業大学では、2008年度から学修自己評価システムを運用しており、JABEE対応に留まらず、学生の学修過程や学修成果を多角的に活用・分析できる環境づくりが整っており、本コンソーシアム加盟を契機に、一層の情報交流を図る必要性を感じました。

本学においては、学修ポートフォリオの組織的運用とともに、学生自身の自己評価の促進、さらには、教学IRを活かした学修支援といった事項が喫緊の課題であり、時機を得たシンポジウムの内容でした。



『大殿ふるさとまつり』学生プロジェクト

2019年11月10日（日）に開催された第26回「大殿ふるさとまつり」（山口市大殿地区）において、山口大学生による「企画1：山口大×脱出ゲーム、3つの時代にタイム★トリップ、チームで乗り越えていく歴史型脱出ゲーム」「企画2：2会場（大殿地域交流センターと山口ふるさと伝承総合センター）をつなぐライブ配信！」の2企画を実現しました。このうち、「山口大×脱出ゲーム」の企画には、学生スタッフである医学部保健学科1年生 高橋真一君が加わり、本人が熱望していた山口市内での地域活動に参画することができました。

「企画1：山口大×脱出ゲーム 3つの時代にタイム★トリップ チームで乗り越えていく歴史型脱出ゲーム」では、これまで大殿ふるさとまつりで使用されていなかった山口ふるさと伝承総合センターみやび館を活用するアイデアとして学生が考案したもので、大殿地区にゆかりのある「室町時代」「幕末維新の時代」「現代から未来へ」をテーマとした3部屋における謎解きゲームを演出し、子どもから大人まで楽しめるものとなりました。特に、地元の大殿小学校の生徒を中心に、大変な人気を博し、約170名の来場者を集めました。

学生企画の提案及び実現においては、大殿ふるさとまつり実行委員会メンバーの手厚いご協力とご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。



やまぐち探訪記 第十二回 （岩国市）

初めまして！人文学部人文学科1年生の河野真優です。広島県出身で、この春、YU-AP学生スタッフになりました。気の向くままに山口県のいろいろなところに行き、私が素直に感じたことを書いていきたいと思います。よろしくお願いします！

さて、今回は錦帯橋に行ってきました。錦帯橋と言えば、山口県でとても有名なスポットだと思います。山口県を紹介するパンフレットを見ても、表紙を飾っているものも多いですし、テレビ番組でも取り上げられているのを見たことがあります。私も4歳のころに行ったことがあります。その時は、橋の階段が急すぎて怖かったとか、急な階段を何度も上り下りして大変だったという記憶しかありませんでした。むしろ、渡り切ったところにあるソフトクリーム屋さんで変わった味のソフトクリームを食べた記憶の方が強かったです。こんな調子だったので、今回初めて錦帯橋をじっくり観光しました。私が錦帯橋で印象に残ったことは、



橋の美しさです。5つのアーチ、つやつやした階段…などいろいろあります。そんな中、私のおすすめは、橋の裏側です。川べりに立って、上を見上げてみれば、その美しさはよく分かります。橋の裏側の骨組みは、緻密に組み込まれていて、まるでアートのように感じられました。橋を渡るだけでも大満足ですが、一度橋を降りて見上げてみるのもおすすめです。と思いました。

今回、幼いころとは違って、錦帯橋の素晴らしさに気が付くことができました。また一つ、山口県でいい思い出ができました。やまぐち探訪記はまだまだ続きます。



学生スタッフ募集!



オン・キャンパスでジョブ
オフ・キャンパスでチャレンジ



大学教育センター 林 透
083-933-5067



林 透(担当教員)
toru-h@yamaguchi-u.ac.jp



<http://www.epc.yamaguchi-u.ac.jp/>

Our Works!

共育ワークショップ
山口大学の教育(共育)について
学生・教職員が一体となり共にはぐくむ場
年に一回開催!

共育の丘だより
大学教育センターでの
活動や広報のため
年に二回発行!

**山口大学・大学教育再生加速プログラム
(YU-AP)推進事業**
2014年秋に採択された全学を挙げての事業
学生・教職員が協働して推進!

SLPの開発
Student Leader Program
リーダーシップ養成
学習相談会(ピア・サポート)
キャリア学習会(就業力支援)...

学生向けの
新・正課外教育プログラムを
教職学協働で創造!

学生FDサミット
全国を飛び回って大活躍中!!

オン・キャンパスでジョブ
学修到達度テストの補助業務
学内企画イベントの補助業務
オフ・キャンパスでチャレンジ
学生FDサミットに参加して他流試合
山口市・長門市・周防大島などの体験学習

Contact!
YU-AP推進室
TEL:083-933-5261
E-mail:yuap@yamaguchi-u.ac.jp

編集チーム

林 透
(大学教育センター准教授)
伊藤 千恵美
(教育企画係)

学生メンバー

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 廣本 明日香
(人文学部4年) | 谷崎 絵美里
(農学部3年) |
| 堀井 さやか
(人文学部4年) | 西谷 泉水
(農学部3年) |
| 今徳 凌太
(経済学部4年) | 松瀬 可葉子
(農学部3年) |
| 岡 寛範
(経済学部4年) | 弘田 侑大
(経済学部2年) |
| 川田 海榮
(経済学部4年) | 中村 優紀
(理学部2年) |
| 増田 雅也
(国際総合科学部4年) | 山口 由貴
(理学部2年) |
| 原 きく乃
(人文学部3年) | 河野 真優
(人文学部1年) |
| 杉本 寛晟
(経済学部3年) | 山下 祥
(人文学部1年) |
| 大亀 洋輔
(理学部3年) | 赤尾 侑果
(経済学部1年) |
| 藤井 聖也
(工学部3年) | 高橋 真一
(医学部1年) |

発行:
大学教育センター
(2020年2月14日 発行)

編集後記

今回の学生FDサミットに参加した学生は初めての参加で、その感想からもすごく刺激を受けたようでした。学外に出て学生FDのことについて触れることは本人の成長にもなり、また学内での活動に新たな風を吹き込むきっかけになると思います。これからも活動を続けて、他のメンバーや後輩に伝えていってほしいと思います。

さてこの度のやまぐち探訪記ですが、今回加わった新メンバーが記事を書きました。他県からの山口県の印象が生き生きと感じられます。ぜひご覧ください。
(教育企画係 伊藤千恵美)

大学教育は、大学教職員、学生、地域をつなげます